

## 民放労連第39回女性協定期大会

積極的に発言、  
活発に意見交換!

女性協議会



定期大会参加のみなさんで

10月6日(土)に代々木  
研修室にて、民放労連第三  
九回女性協定期大会が開か  
れました。全国から集まっ  
たメンバーは二〇名。少人  
数だったことで、全員に積  
極的に発言していただき、  
活発な意見交換がなされま  
した。

■ワークラ  
イフブラン  
スの知恵は  
全国で共有  
しましょう  
う!

定期的な振休未消化によ  
って健康被害が出ている事  
例、家族の健康の事情があ  
るにも関わらず転勤になっ  
て困っている事例、地域限  
定社員制度の出現で育児中  
の社員の給与が減った事例  
などが報告されました。ま  
た時短制度はあるがフレッ  
クスではないので、制作の  
人間が時短を使うことは実  
際にはできないといったケ  
ースや、育児休暇や育児時  
短を取得した人がいると、  
仕事のしわよせがいつし  
まって周りの人が疲弊する  
ケースも報告されました。  
育児だけではなく、介護や  
メンタル不調などの問題も  
多く聞かれるようになり、

●女性協  
URL  
<http://www.minpororen.jp/women/index.html>

ワークライフバランスは女  
性だけのためのものではな  
くなってきました。事情が  
あって転勤ができない人も  
増えてくると思われれます。  
せっかく時短などの制度が  
あっても、まわりの人も含  
めて仕事のやり方を変えな  
ければ、誰かが抜けた穴を  
埋めることはできずに現場  
がうまくまわらないという  
ことになると思います。そ  
の際に責められるべきは、  
抜けた人ではなく、それを  
フォローできる仕組みが整  
っていないことだと思います。  
定期大会では、業務マ  
ニユアルの徹底や情報の共  
有で、突然誰かが抜けても  
大丈夫なような仕組みを整  
えている職場の例も報告さ  
れました。女性協では、制  
度や制度の使い方などの情  
報を今後とも共有し、問題  
を解決できるようにしてい  
たいと考えています。

■来年の女性のつどい、ご  
期待ください!  
来年の全国女性のつどい  
は、6月8日〜9日に仙台  
国際ホテルで行われる予定  
です。五〇周年の節目とな  
る大会が東日本大震災の地  
で開かれるということで、  
是非意義深いものにした  
と、活発な意見交換がされ  
ました。実行委員会の東北  
からは、「生きる」ことを  
テーマにしたいと提案があ  
り、それに沿って様々なア  
イディアが出されました。  
その中で特に画期的だった  
のは、「放送局で働いてい  
た女性はそのときどう仕事  
をしていたのか?」という  
ことについて、体験者から  
話を聞くという提案でし  
た。日本全国、地震など自  
然災害から逃れられる場所  
はありません。つまり、ど  
この地域でも被災地になり

得、そのときに、放送局で  
働く私たちには、生活だけ  
でなく、非常事態での放送  
の維持というタフな使命が  
待ち受けているのです。報  
道現場はもちろんのこと、  
営業・編成・技術などすべ  
ての部署で、どのようなこ

とが起こったのか、次回の  
女性のつどいでは、生の声  
を聞く、またとない機会に  
なります。  
また、未だ驚くほど復興  
が進んでいない被災地の現  
状を絶対に見てみるべきだ  
という意見もありました。

そのほか、防災サバイバル  
術、避難所での実際の問題  
や対策、食事や内部被曝に  
ついての専門家の話を聞き  
たいという意見や、また昨  
年のつどいで参加者の自主  
的な呼びかけで開かれたジ  
ョギング分科会を東北でも

開催してほしいという意見な  
ど、多数のアイディアが挙  
げられました。  
次回のつどいも意義深く  
素晴らしいものになりそう  
です。どうぞご期待くださ  
い!